

美野里中学校区小中一貫教育 教科・領域ごとの取組

教科・領域	現在の取組
保健・食育	平日の朝食摂取率90%以上を目標とし、朝食摂取の大切さを訴えた動画等資料を作成して、各校の給食時に児童生徒に見せた。今後も、朝食の大切さを子どもたちや家庭に伝えていく。
安全教育	各校の自転車の乗り方、歩行の仕方、不審者対応などの資料等を5校で共有した。また、道徳・社会・総合的な学習の時間等で、「命の大切さ」や「予想できない災害」について知り、考える時間を設定した。
生徒指導	教務主任や生徒指導主事の会議で、細かな情報交換を行った。また、小学校の生徒指導主事が中学校を見学し、生徒の様子を見たり、関係機関と情報を交換・共有したりした。
特別活動	11月4日～14日に、各校でいきつ運動を実施した。12月には、6年生対象の美野里中の見学会を実施した。今後は、美野里中の紹介DVD作成による小中交流について検討していく。
人権教育	学校だよりやHPなどに、人権に関するものを掲載し、保護者の方や地域へ情報を発信している。また、人権集会やいじめ防止フォーラムを開催し、児童生徒や教職員が学ぶ機会をつくっている。
国語	すべての学級で、授業の始まりの音読を推進している。小中での、相互授業参観や教科部会など情報交換の場を多く作っていく。また、小中の年間指導が連続性をもつように改善を図っていく。
算数・数学	計算力向上と基礎知識の定着を目指し、100マス計算に取り組み、報告をエクセルシートで行い、共有している。また、授業や研修の様子をクラスルームに投稿し、共通理解を図っている。
理科	各校で、学習問題（課題）を疑問形で提示したり、実物を積極的に活用した観察・実験を行ったりしている。また、小中共通の安全な実験・観察についてのポスターを掲示し、児童生徒の安全意識を高めている。
社会	グラフの数値の変化を取り上げ、変化の様子と関連する事項と照らし合わせて考えさせる授業を行っている。資料を活用するための授業を行う教師の技量を高めるため、地図帳の有効活用法について社会科部員を中心に研修会を行う。
外国語	5校で授業動画を共有し、授業改善に活用している。また、児童生徒に書く力を付けさせるために、フォニックス（英語の文字と音の関係性を学ぶ学習法）の活用を検討している。
保健体育	各校の体力アップ推進プランに基づき、体力テストで落ち込んでいる体力の向上策を講じている。また、各校の体力向上策で効果的な取組等、クラスルームで共有している。